

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、「3 サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	調理や掃除など一緒に行っているが、個々の能力が十分に発揮されていない。	利用者さん一人一人の潜在能力を引き出し、役割を持って生活できるようにする。	個別ケアを実施し、出来る事を見つけていく。業務改善を行い、能力を発揮する場面を増やし、役割を作っていく。その時の行動や状態を記録に残し、情報を共有する。	6ヶ月
2	38 48	一人一人のペースで暮らしているが、他者と楽しみ事を共有する場面が少ない。余暇活動がうまく活用出来ていない。	他者とゲームなど楽しみ事を設ける。	やりたいことを聞き、ゲームなど楽しみ事を計画的に行っていく。	6ヶ月
3	27	記録の書き方が統一されていない。家族とのやりとりが記録されていないことがある。	モニタリング表を活用し、気づきや工夫した事をわかりやすく簡潔に記録する。	モニタリング表を活用し、ケアを実践しての反応や気づき、工夫を具体的に記録する。家族とやりとりした内容をしっかりと記録に残し、情報を共有する。	6ヶ月
4	4	運営推進会議が現状の事業所の報告が主体となっている。	地域や行政と更なる関係を深めるような取り組みを行う。	事業所の活動を地域の方々知ってもらうように、行政との関係を利用したり、法人の広報誌やホームページを利用し取り組んでいく。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。